

バケット用自動倉庫ラックソーターBの導入で、小口出荷対応、および作業の平準化・標準化を実現。



建築用ネジ製造販売の老舗企業で、業界のリーディングカンパニーであるヤマヒロ様。従来は、パレットに積みつけて固定ラックに一時保管された完成品を、ピッカーを用いてパレットからアイテムごと・カートン単位でピッキングしていました。そのため、お客様から要望の多い小口出荷への対応ができなかったに加え、伝票・送り先単位での仕分け作業を運送会社に委託しており、コストがかかっていました。さらに、ピッカーでの高所作業による作業負担や1日数回の出荷便ごとの一時的な作業負担の増加と手持ち時間の発生が課題でした。そこで、トヨタL&Fのバケット用自動倉庫「ラックソーターB」を導入。ピッカー作業削減による作業者の負担軽減と出荷便ごとの一時的な業務負担の軽減により、作業の平準化を実現



しました。また、バケットの代わりにトレーを活用することで、カートンと小箱の2種類の荷姿に対応可能となり、上位システムとの連携で伝票・送り先単位でのピッキング実現によるコストカットと、小口出荷対応による注文数の増加を見込んでいます。

株式会社ヤマヒロ様
大阪府河内長野市上原西町4番1号

■ お客様会社概要

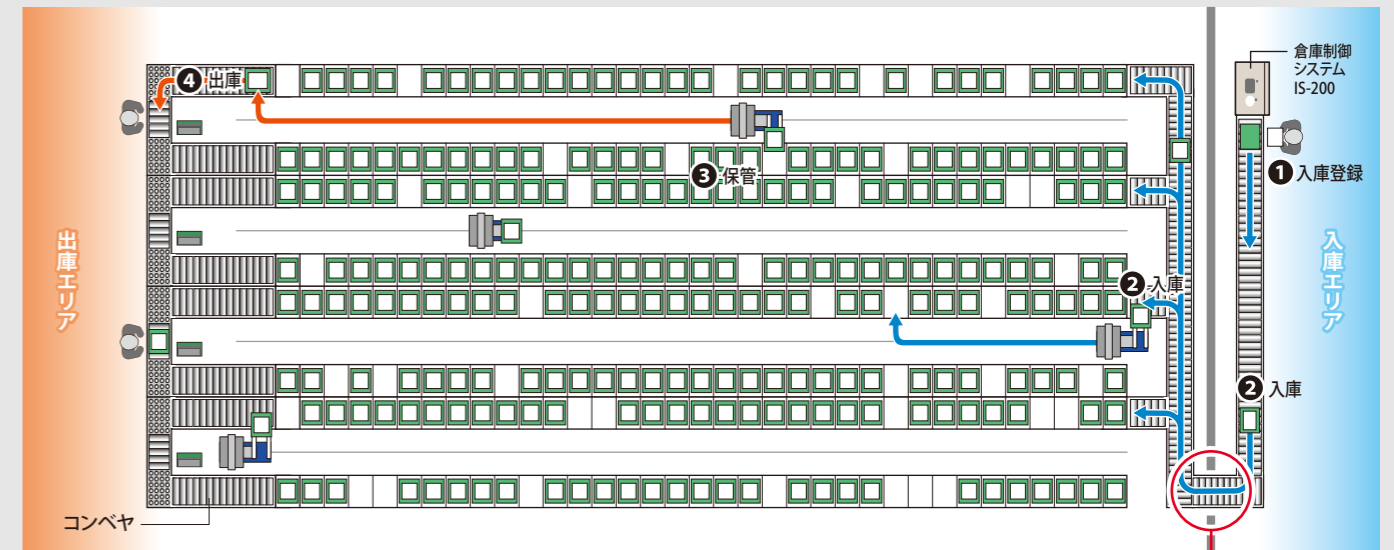
設立: 1971年(昭和46年)
本社所在地: 大阪府河内長野市上原西町4番1号
事業内容: 建築ファスナー、および関連製品の製造販売と付帯する業務、および貿易業務
HPアドレス: <https://yamahiro.com>



ポイント

- 上位システムとの連携で、お客様要望の多い小口出荷への対応が可能に
- 出荷便ごとの一時的な仕分け作業負担を大幅に低減し、作業の平準化を実現
- 高所作業の削減による、作業者の負担軽減、および属人的な作業の標準化を実現

■ ラックソーターBの運用図



システム概要

- ラックソーターB (バケット用自動倉庫)



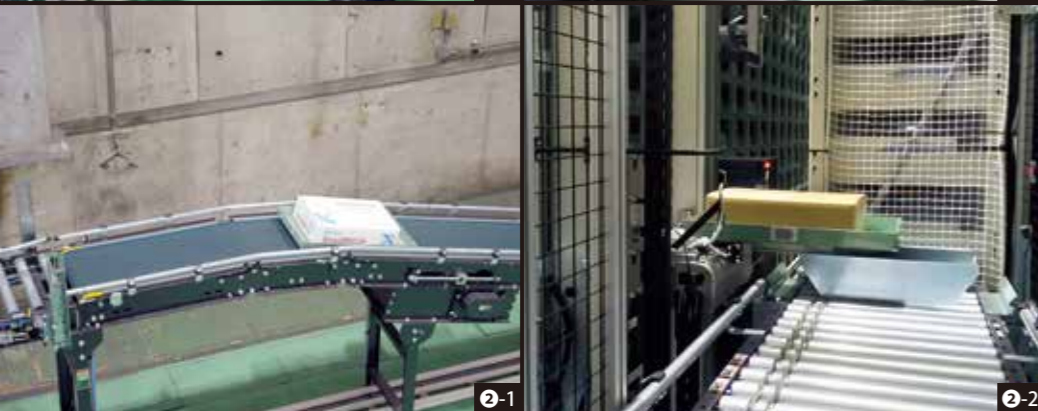
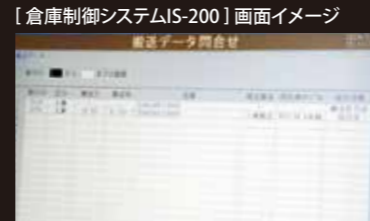
ラックソーターBを4基導入。



自動倉庫の背面からコンベヤで梱包工程と繋ぎ、入庫作業を効率化。



① 入庫登録: 専用トレーに商品を置き、トレーと商品に貼られたバーコードをハンディスキャナで読み込むことで、入庫登録が完了。



② 入庫: 登録完了後、コンベヤで搬送され、自動倉庫へ入庫。



③ 保管: バケットの代わりにトレーを活用し、カートンと小箱の2つの荷姿に対応。



④ 出庫: 商品がトレー毎に自動出庫され、作業者が商品をカートンまたは小箱単位でピッキング。



トレーを活用することで、バケットと比べ、保管スペースを大幅に削減。

